

## 令和3年度 六大学との連携事業一覧(その他)

本表の並び順について

足立区にて開設・開学した時期が早い大学から掲載

「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など

No	事業区分	大学	主な対象者	事業名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
1	調査研究	東京未来大学	—	冒険あそびに関する共同研究	公園あそび(冒険あそび)にて、子どもたちの心理や行動における変化、スタッフの関わり方と子どもの変化の関係について共同研究を行う。また、プレイリーダー養成に関する指導も依頼する。	対面	1/22	4
2		文教大学	小中学生	特別支援教育における研究交流事業	研究交流事業として、研究学生受入校を募集。教授による支援を要する児童(受入校1校につき1人)の行動観察・助言指導及び研究学生による週1回の支援。受入校との合同会議、全小中学校教員等を対象に報告会を実施。	対面	7~2月	69
3		帝京科学大学、東京未来大学、文教大学	—	発達障がい学生支援に関する調査	大学全体の基本情報・学生支援にあたっている部署に関する内容についてアンケート。訪問し、学生支援の実態・支援に関する課題・区との連携等について担当スタッフから話をうかがう。区内大学の発達障がい学生支援の実態や学生支援に関する課題・ニーズを把握・整理し大学と区との協働・協創により発達障がい者の切れ目ない支援に向けた連携体制を構築すること。これまでいくつかの事業を施行してきたが継続実施には至らなかったことを踏まえ、当センターの思いのみではなく、正確に大学の現状・ニーズを把握したうえで連携する必要性を強く感じたことから調査実施に至った。	対面	8/10、9/8	6
4	配布協力	六大学	大学生	「スクールアシスタント募集」チラシ配布の協力	スクールアシスタント募集のチラシを区内六大学に配布し、事業周知をすることで、スクールアシスタントの充実を図る。	—	7/16	—
5				オウム真理教勧誘防止チラシ配布の協力	新入生を対象にオウム真理教についての注意喚起チラシを配付し、若い世代の入信を防止する。	—	3/14	—
6				「若者向け相談事例集の配布」の協力	令和4年4月1日に成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることから、若者向けの相談事例集を作成した。作成物について、各大学に配布の協力を依頼。	—	3/11、3/15	—
7				「地球にやさしいひとのまち」ポスターコンクール応募チラシの配布	区民が環境問題について考えながらポスターを作成することにより、環境問題に対する知識や理解を深めてもらい、その啓発を目的とした事業。小・中学生だけでなく一般からも募集しているため、大学生に周知するため配付を依頼。	—	8月~10月(募集期間)	—
8			全区民	区拉致問題啓発ポスターの配布の協力	拉致問題をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題について、区民をはじめ区内の大学生にも理解を深めてもらうため配布し、掲示を依頼。	—	9/17	—
9	実習生受入	帝京科学大学	—	スクールソーシャルワーカー実習生受け入れ	スクールソーシャルワーカー実習生の受け入れ。	対面	6/1、6/3、6/4、6/8	4
10		文教大学	—	臨床心理実習	大学院生3名をチャレンジ学級での実習生として受け入れ。	対面	6月~3月	111
11		東京未来大学、文教大学	大学生	心理実習	東京未来大学9名、文教大学生7名をこども支援センターげんきの見学実習生として受け入れ。事業概要を説明。	対面	6/16	16
12	会場提供	東京電機大学	全区民	新型コロナウイルスワクチン接種	新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐために、医師会等と連携しながら、ワクチン接種を円滑に進めるための体制を構築。	対面	10月(月・火曜日を除く毎日)、及び11月12~14日・17~21日	—
13	補助金	東京電機大学	—	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設置し、運営費を区が補助。	—	通年	—